

国 語 読む！ 書く！ 考える！ 〔本や新聞を読もう！〕 ○長い文章を読む練習をしよう。 〔「やりとり帳」に毎日、自分の思いを書こう〕 ○短くてもいいので毎日思ったことを書く練習をしよう。 〔わからない語句はすぐに辞書やクロムブックで意味や使い方を調べる習慣をつけよう！〕 ①新しい教材に入ったら、学習の準備をする。 単元名、学習のめあて、教材名、ジャンル(小説・詩・説明文・随筆など)、 作者・筆者、成立時代、新出漢字の意味の確認、文章構成の確認などをする。わからないことは調べる。 ②毎日、音読をする。 ただ声を出して読むのではなく、漢字や語句の意味、内容を確認しながら読む。 そして、「授業ノート」を自分なりに整理してまとめたり、ワークや問題集を解いたりする。 ③毎日、漢字の練習をする。 漢字は漢字ノートに、へんやつくりを意識して、正確に(はね、止め、はらい等)丁寧に書く。 ④文法は、くり返し問題を解いて復習する。 ⑤古典(古文・漢文)は、暗唱したり、単語の意味を覚えたりする。	社 会 〔予習〕「できる」と「できない」を分ける。 ①教科書を最低2回は読んでおこう。 ②出された課題や宿題を、必ずやっておこう。(自分の力で解こう) 〔復習〕「できる」状態をキープする。 ①教科書やノートにチェックしたところを再確認しよう。 ②知識や理解を確実にするために、くり返し復習をしよう。(見る・読む・書く) ③復習は、必ずその日のうちにやろう。 ④最初は、板書内容をもう一度書き写すだけでもOK。 ⑤課題プリントをくり返し何度も解こう。 ⑥プリント類は、ノートに整理しておこう。 〔テスト勉強の仕方〕(学びを深める) ①教科書やノート、プリントを見直して学習内容を理解しているかどうかを確認しよう。 ②重要語句は徹底的に書いて覚えよう。 ③教科書の写真・資料・地図を確認しよう。 ※ 重要語句は、カードを作ってみるのも1つの良いアイデアです
数 学 〔解いて確認！ 「わからない問題」に時間をかける！！〕 〔授業で学習したこと〕 ①教科書の問題をもう1度解く。 ②ワークを解く。 ③キュービナを使って、学習した単元の基本問題を解く。 ④基本問題が問題なく解けたら、標準問題に取り組む。 〔解けない場合〕 ①教科書や授業ノートをまとめ直して、振り返る。 ②納得できるまで粘り強く考える。 ③解答や解説を見て、考えをたどる。 〔どうしてもわからないとき〕 ①同じような問題を解き、やり方をまねてみる。 ②友達、家族、先生に尋ねてみると、簡単に理解できることもあります。	理 科 〔授業があったその日に【復習】をする。〕 ①復習は、ファイルに綴じているドリル、単元テストやノートを十分に活用し学習内容の理解に努める。 分からないことをそのままにしないことが大事である。 〔重要な語句や公式を覚えているか、紙に書いてまとめる。〕 ①ワークや問題集を解いて、学習内容が定着しているか確認する。 ②間違ったところは、くり返し内容を教科書で復習し、先生や友達に疑問点を聞いて理解する。 〔テストのやり直しをする。〕 ①テストの問題は、繰り返し出題される。大切なのは同じ間違いを繰り返さないこと。 ②テストのやり直し(訂正ノート)で、間違えたところの解説を書いて、間違えた理由を明らかにする。
英 語 〔読んで書いて話して身につく ～ 繰り返しが大事！〕 〔単語や英文を発音しながら書こう！〕 ○1ページ分練習したら、自分テスト(日本語→英語)をする→赤ペン→間違った単語や英文をやり直す。 〔教科書やプリントの英文を音読、そして書けるようになるう！〕 ○英語らしい発音とスピードで、意味を思い浮かべながら何度も読む。(クロムブックを活用) ＊上手になったら、暗記(長さは自分で決めて)→見ないで書く→赤ペン→やり直し。テスト前はぜひ！ 〔問題集を繰り返し解こう！〕 ○ワークや問題集を活用して実践問題に慣れる。間違ったところは必ずやり直し、解き方を理解する！ ❗わからないところは友達や先生に聞いてしっかり理解しよう！！	美 術 〔感性は普段の生活の中で培われる。美術は自分の感じたもののイメージしたものを表現する教科である。これからの時代はバランス感覚が求められる。そのためにも、美術で学習したことを普段の生活に生かす。〕 ①課題が示された後、アイデアは普段の生活の中でも考える。遅れている時は、クロッキー帳を持ち帰って進める。(美術の時間と普段の生活をつなげる。) ②感性を磨くために、美術館や他の文化施設にも積極的に鑑賞に行ってみる。 ③部屋の模様替えや洋服のコーディネートをするときに美術で学習した色彩理論を生かしてみる。
技術・家庭 知る・やってみる・身につける 〔技術・家庭科は、私たちの生活に密接な関係のある教科である。生活に必要な知識を知り、技術を身につけよう。技術・家庭科が得意な人は、生活を豊かに送ることができる人である。〕 ①生活の基礎知識を知ろう。→ 授業を真剣に受ける。②学んだ技術を実践する。→ 学校で行った実習を、家庭でも実践する。そうすることによって身につく。(家族や家庭の生活において役に立つ)	音 楽 ①日常生活の中で、多様な音楽にふれ、音楽に関する本を読む。 ②授業で学習して興味を持ったジャンルや楽曲を自分で調べたり、聴いたり演奏したりしてみる。 ③自分が興味をもっている音楽について、まわりの人と対話する。
保健体育 ① 1日30分程度の運動を積極的に行う。② 保健分野・・・重要語句をおさえながらまとめる。・資料やグラフを読み取る。・わかったことを記入する。③ 体育分野…技能のポイントをまとめる。・種目の特性をつかむ。 ④ 発展的な学習…持久力を高めるためのトレーニングを考える。(呼吸の仕方、脈拍数計測、目標を設定し、1か月間の記録をとるなどノートにまとめる。)	

学習の習慣を身につけるために

- ①1日の生活リズムをつくる。(いつ・どこで・何を勉強するのか)
- ②毎日することと、週末などを利用してすることを計画する。(苦手教科から逃げない)
- ③学習する教科と内容が決まったら、先に、目標を必ず書く。そして、終わったら、振り返りの感想を書く。
- ④一度覚えても時間が経つと忘れてしまうので、問題集を使って、何度でも定期的に復習する。

